

タバコって な～に？

愛媛県医師会



中原とほる

【はじめに】

愛媛県医師会長 久野梧郎

喫煙は喫煙者本人ばかりでなく、副流煙が周囲の人の健康に影響を及ぼすことは十分に知られています。喫煙の害を子どもの頃から教育し、生涯を通じて喫煙しない人達を増やしていくことが重要です。

子どもへの喫煙予防教育は家庭や学校・地域など社会全体で取り組む必要があります。

愛媛県医師会学校医会は、かねてから愛媛県地域保健対策協議会学校保健委員会と共同で、児童生徒の喫煙習慣予防教育を推進するため各種の調査研究を行ってきました。その一つの成果として、平成2年に児童生徒の喫煙習慣予防教材として漫画本「たばこってな〜に？」を作成し、喫煙予防の普及・啓発に努めてきたところです。漫画本は初版から10年目に改訂版を出しましたが、今回さらにその後の社会情勢の変化や法律の制定などを踏まえて内容を改めました。学校や地域における喫煙習慣予防の教育・啓発に広くお役にたてていただきますようお願い申し上げますとともに、お忙しい中執筆下さいました中原とほる先生に厚くお礼申し上げますご挨拶と致します。

平成20年4月22日

タバコって な～に？

愛媛県医師会

